

アクティブラーニングに関する参考資料 Ver.1.00

アクティブラーニングについて、高等教育開発センターで作成している参考資料です。今後実施予定のアクティブラーニングの実施状況調査の結果にもとづいて、改訂を行います。

タイプ	タイプの説明	アクティブラーニングの形態	方式や例	備考
(1) 知識の定着・確認	知識の定着およびそれらを確認する、主に個の学修	レスポンスアナライザー	クリッカー	
		小テスト、演習、実技		
		知識の定着・確認を図るレポート、知識の定着・確認を図るライティング		表現志向のものは(2)
		時間外学修	予習（反転学修を含む）、復習、宿題	
		振り返り（省察）	振り返りシート、大福帳、コメントシート	
		体験、実験、観察	手順通りの実験・実習、体験活動、見学、実体験を伴わない学生の過去の体験との紐付け	
		調査	調べ学修（文献、インターネット）	
(2) 意見の表現・交換	知識や意見等を表現し、発表したり交換したりする他者との協働や相互作用のある学修	発表	プレゼンテーション、パネルディスカッション	
		話し合い	ディスカッション、ブレインストーミング、ラウンドロビン、バズグループ、シンクペアシェア、ワールドカフェ、ディベート、マイクロディベート	
		教え合い	ジグソー、知識構成型ジグソー法、LTD(Learning Through Discussion)、相互教授（ピアインストラクション）	問題解決が含まれる場合は(3)
		図解	コンセプトマップ	
		文章作成	表現志向のレポート、表現志向のライティング、共同的執筆、ピアレスポンス	知識の定着・確認を図るものは(1)
		相互評価（ピアレビュー）		
(3) 応用志向	知識やスキルを現実で起こりそうな状況に応用したり、問題発見・解決したりする、主に教室等内での学修	問題基盤学修(Problem-Based)		
		シミュレーションゲーム		シナリオベース
		ロールプレイ、演劇		
		仮説の検証や探索を伴う実験		
		ケースメソッド	シナリオ・事例研究、事例設定型教授(Case-Based)	学修者主体のもの
		チーム基盤型学修(Team-Based)		
(4) 知識の活用・創造	知識やスキルを現場等で活用し省察する学修や、創造的な学修	プロジェクト学修(Project-Based)		
		実習	教育実習	
		臨床実習		
		創成学修、芸術創作、設計、デザイン、意匠	ものづくり実習	
		観測		
		フィールドワーク	聞き取り調査、アンケート調査	受動的な見学や体験活動は(1)
		インターンシップ		省察を伴う
		サービラーニング		省察を伴う
		研究、論文作成	卒業論文、修士論文	

注 1) 1つの教育活動に対して、上記の複数の分類や方法が組み合わされて用いられることがある。また、1つの形式にその他の形式が含まれる場合もある。